

拠点形成活動 情報基盤、評価システム、国際交流

J A I S T の知識情報環境整備・電子図書館

代表者：吉田 武稔（知識科学研究科 教授）

活動内容

- 本COEホームページ上に「知識科学図書館」を開設し、運営する -

知識資産をデータ化して蓄積・活用していくための知識科学図書館を開設した。

現在、試験的に「研究・技術計画学会」の講演要旨論文集で構築を行い、テストしている。閲覧は、21世紀COEプログラム「知識科学に基づく科学技術の創造と実践」ホームページ(<http://www.jaist.ac.jp/coe/indexJ2.htm>)の『知識科学図書館』からでき、キーワード検索を可能にした。論文の中には「手書き」のものも含まれているが、それもキーワード検索に対応している。今後は、COEの成果、知識科学研究科や関連学会に対して展開する。

なお、構築・テスト等については研究・技術計画学会「研究技術計画叢書」編纂プロジェクトと連携・協力している。

最近我國の経済が目覚ましい発展を示し、その原因が主として工業技術の素晴らしい進歩によって、優秀な製品が世界の市場を制覇していることにあるといわれている。所が我國は従来**基礎研究**の面で世界に貢献する所が少なく、欧米において行われた**基礎研究**の成果を巧みに取り入れて、これを実用化し、製品化することにより、現在の著しい経済発展を実現してきたと目されている。さて我國はこのように大きい経済力を持つようになったのであるから、今後はもっと**基礎研究**に力を注いで、世界に貢献すべきであるという主張が多くなってきた。また同時に、我國が従来**基礎研究**の面で十分世界に貢献できなかったのは何故であろうか。我々日本人は創造性に欠ける所があり、本来**基礎研究**には向かないのではなからうか、等の議論が行われている。

知識科学図書館のキーワード検索「基礎研究」で探し出された語

手書きの論文でも、上記のようにキーワード検索で探しだすことができる

研究・技術計画学会「講演要旨集」から

(知識科学図書館の特性として)

MOT分野での既発表要旨を過去21年分のストックの中から任意のキーワードで検索が可能

東京MOTコースの社会人学生が円滑に、先行研究のサーベイを実施する上で強力な支援ツールとなりうる

研究メンバー

- | | |
|-------|------------------------|
| 小林 俊哉 | (科学技術開発戦略センター 准教授) |
| 鶴岡 洋幸 | (科学技術開発戦略センター 研究員) |
| 松澤 照男 | (情報科学センター長・教授) |
| 安藤 敏也 | (遠隔教育研究センター長・教授) |
| 宮田 一乘 | (知識科学教育研究センター長・教授) |
| 菊池 智子 | (科学技術開発戦略センター ポスドク研究員) |